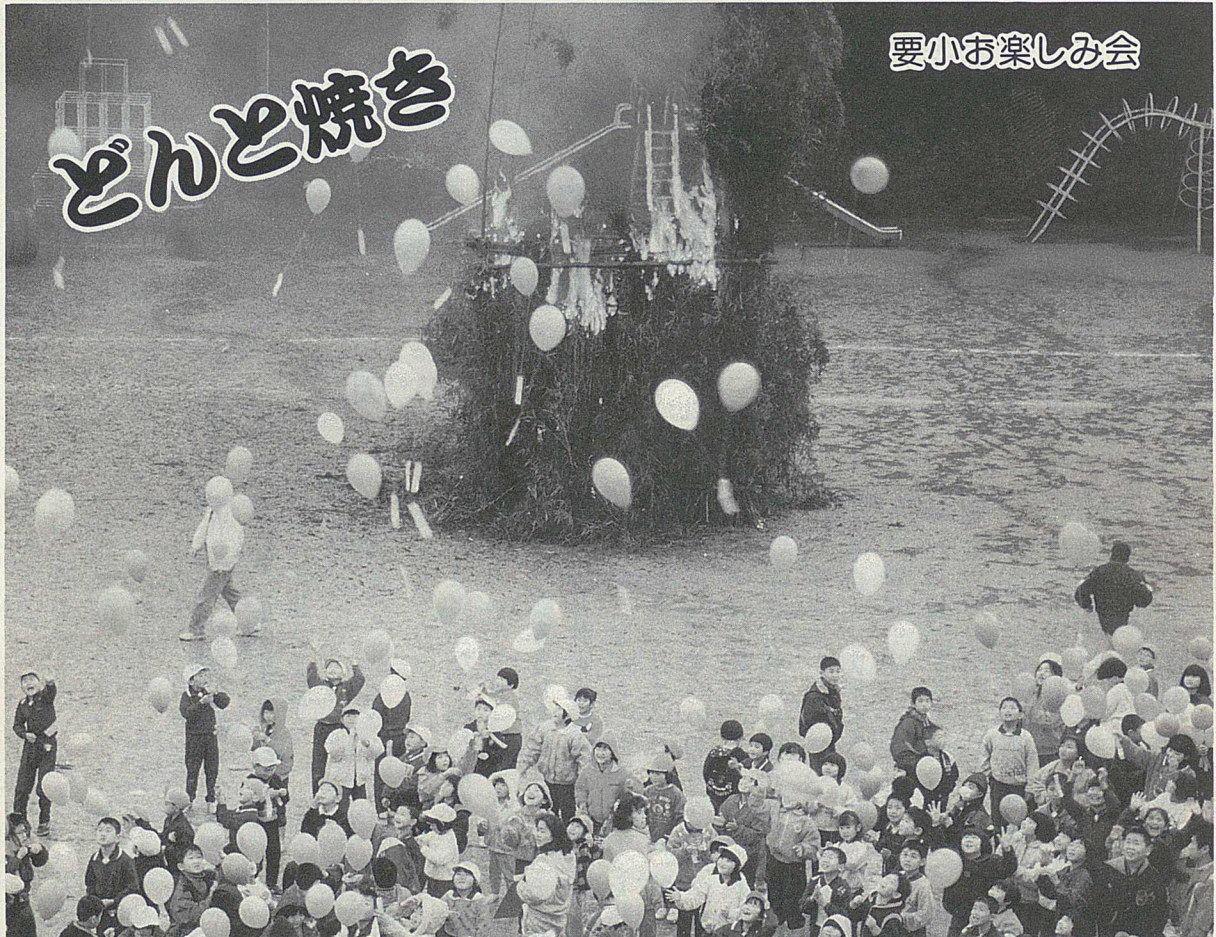




- ☎ 新年のあいさつ P 2~3
- ☎ 複合団地構想 P 4~5
- ☎ 予算執行状況 P 6
- ☎ くわがしら P 7
- ☎ ドイツ研修報告 P 8
- ☎ 青年の船報告 P 9
- ☎ 北浦村福祉大会 P 10~11
- ☎ わだい 12~13
- ☎ お知らせ 14~15
- ☎ スポーツ P 16

1月

毎年要小学校では、趣向をこらした正月お楽しみ会を開催しています。

今回は祖父母のみなさんを招いて楽しく交流しました。子供達がついた餅を食べたり、風船を飛ばしたり、と祖父母の皆さんも満足そうでした。最後に「どんと焼き」が行われました。どんと焼きとは、害虫を駆除して、豊作を願う昔ながらのお祭りで、ワーホイとかトリオイとも言います。今ではほとんど見られなくなってしまいました。

魅力ある

村づくりに向けて

北浦村長 磯山 伸知



新年あけましておめでとうございます。村民の皆様には、輝かしい新春を迎えられたことと心からお祝いを申し上げます。また、昨年末に執行されました村長選挙に際しましては、皆様の心あたたまるご支援とご厚情を賜りまして、三たび村政を担うことになりました。この責任の重さを痛感するとともに、住民の福祉向上に全力を傾ける所存でございますので、一層のご協

力をいただきたく心からお願い申し上げます。

さて、顧みまして私は昭和六十一年に北浦村新総合計画を策定、村民の皆様との協力をいただきながら、計画に基づく諸事業を着実に推進してまいりました。特に大きな事業が、ふれあいの郷構想に基づく事業であり、中央公民館、テニスコート、多目的広場等は三月末に完成予定であり、屋内体育館、文化ホールについても既に工事着工にはいつており、来春には完成予定であります。

これらの施設の整備によって、スポーツや文化活動の拠点として、基本目標である「ふれあいと活力に満ちたふるさと北浦」の実現に大きな役割を果たすことができるものと確信するものであります。

さらに、農業振興計画の推進、農村総合モデル事業の推進など基幹産業である農業

今年は酉年^{トリ}



平成五年は酉年です。十二支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。単に鳥というと、ニワトリ（鶏）を思い浮かべる人も多いようですが、ニワトリは人間と最もなじみ深い鳥といえます。

ニワトリといえば卵——日本人が一年間に食べる卵の数は、一人当たり三百一十個です（世界鶏卵協議会・一九九一年発表）。これはイスラエルに次いで、世界第二位です。ニワトリには、随分お世話になっているわけですね。

ニワトリのルーツは、インド、スマトラなどのジャングルに住むヤケイ（野鶏）を改良したものだとされています。それが、いまでは世界中のほとんどで飼育されています。

ニワトリが日本の文献に最初に登場するのは『古事記』です。天照大神が天の岩屋に

の振興を図るとともに、簡易水道の拡張や道路の整備、土地の乱開発防止策など生活環境整備にも努め、これらの事業は引き続き推進してまいりたいと考えております。

また、近年本村を取りまく環境は大きく変化しつつあることは周知のとおりであります。本年四月から県道土浦大洋線の国道三五四号線への昇格、さらには東関東自動車道水戸線の水戸、鉾田間の計画路線への格上げに伴っての本村にかかわる影響など、広域交通網の整備による開発可能性の高まり、急速な人口の高齢化、産業の振興と土地利用、下水道の整備など課題は山積されております。

今後は、本村の恵まれた自然環境を保ちながら、若者の定着できる村、生活の豊かさを実感できる村づくりが私に課せられた大きな使命であると考えております。



完成間近かな北浦村公民館

私は、これらのことを踏まえて、村民の皆様との懇談会やご意見を基に、昨年、二十一世紀を見据えた村づくり構想を策定いたしました。

これは、地域の特性に配慮しながら、個性ある村づくり、魅力ある村づくりを進めようとするものであります。

この構想の中から、先導的事業として「北浦複合団地」構想を計画いたしました。

この計画は、二百ヘクタールの規模で、優良企業を誘致して働ける場、自然環境に調和した住める場、そして楽しめる遊ぶ場を一体的に配慮し、村の活性化と地域の発展を図ろうとするものであり、現在、地区の皆様のご協力とご理解を得るべく、話し合いを進めている段階でございます。

恵まれた環境の中で、豊かさが感じられる村、農村の良さと都市的機能も整備された村づくりが、今後の急務であると考えております。

このようなことから、将来を展望した新しい村づくり、魅力ある村づくりに向けて、対話と協調を理念とし、決意を新たにす次第でございます。

年頭にあたり、皆様のなお一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げますとともに、村民の皆様にとりまして、ご健康で実り多い年でありますよう心から願ひいたしまして新年のごあいさついたします。

こもったとき、その岩屋から出てもらうために、常世の長鳴鳥を鳴かせたことが記されています。東南アジアには、ニワトリが太陽を呼び出すという神話がありますが、日本もそうした流れをくんでいるのでしょう。

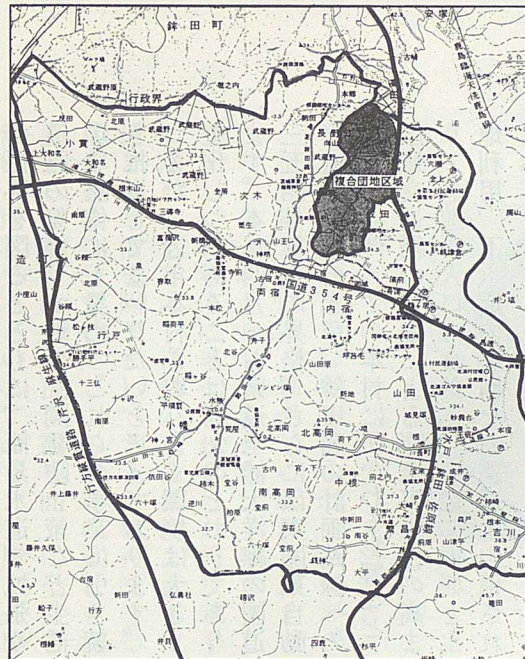
ニワトリには、卵用や肉用、卵肉兼用、観賞用などの種類があります。日本の観賞用のニワトリの中では、特に長尾鶏が世界的にも有名です。尾が十二メートルにもなるものもいます。また、鳴き声のよい東天紅は、張りのある声で二十秒近くも鳴き続けるものもいます。ほかに、声良鶏や唐丸など、鳴き声自慢がいろいろあります。

人間と縁の深いニワトリですが、最近はその姿を見かけることが少なくなりました。昔は農家の庭先などで飼われていて、文字通りの「ニワトリ」でした。しかし、現在では企業の養鶏が中心となり、ゲージでえさや水を与えて飼っていることが多いので、「ハコトリ」などといわれています。

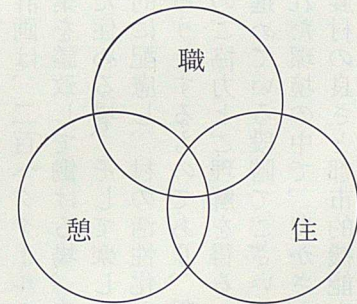
複合団地構想

位置

これからの村づくりにとって重要な役割を担う「北浦複合団地」は武田地区のなかでも幹線道路（土浦大洋線・水戸鉾田佐原線・島並鉾田線）に囲まれた長野江、成田、内宿、三和にまたがる地域に想定しております。



目標



緑豊かな自然の中で職住遊の融合する北浦複合団地の形成

センター機能

ショッピングセンター
交流センター
カルチャーセンターなど

居住機能

区画の大きな住宅
菜園付き住宅
北浦らしい住宅

産業機能

研究所や先端産業の工場
物流センター

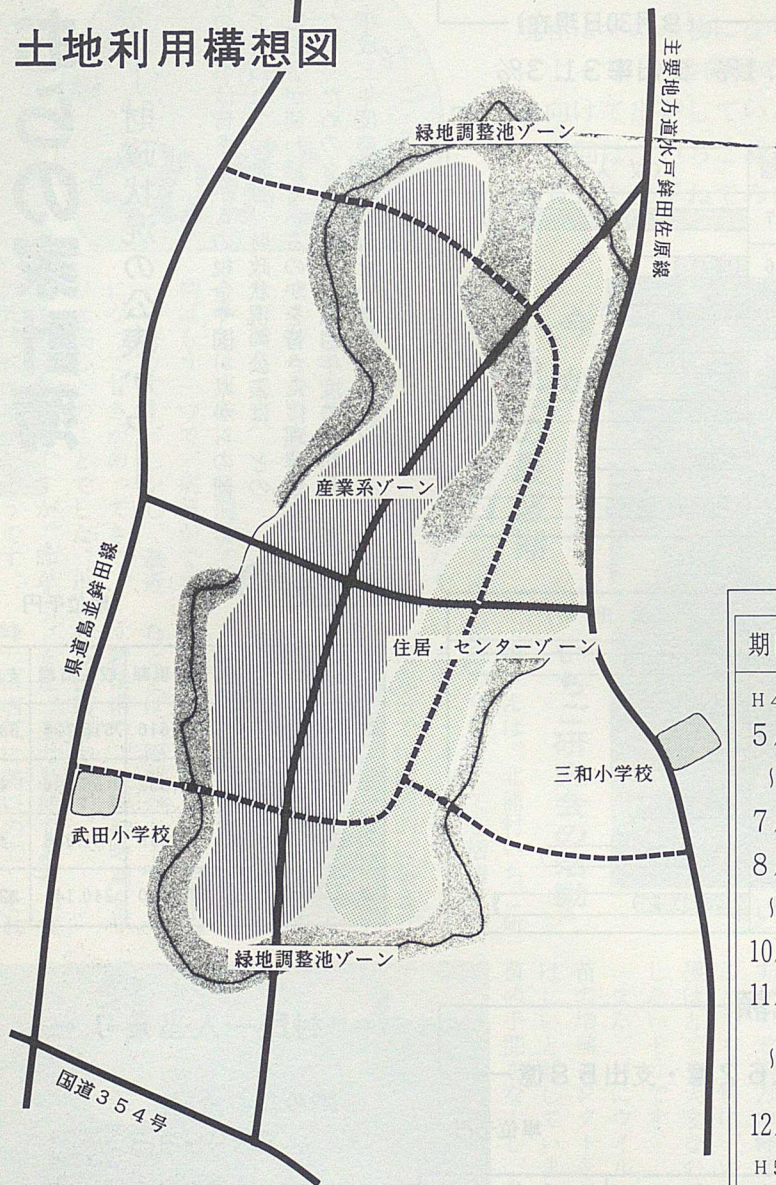
レクリエーション機能

森林公園
親水公園など

イメージ

周辺集落の環境並びに自然環境に充分配慮した将来の北浦村の拠点の一つとしてふさわしい複合団地の形成をめざします。

土地利用構想図



地元説明会等の状況

期日	説明会等の状況
H4 5月 └	地区説明会（3回）
7月 8月 └	
10月 11月 └	地権者説明会（2回）
12月 H5 1月 └	
	県内・外地権者説明会 推進会議 まちづくり委員会 （2回）

事業スケジュール

H11年度	H10年度	H9年度	H8年度	H7年度	H6年度	H5年度	H4年度
企業・住宅等の立地	工 事			実 施	設 計	基 本 計 画	具 体 化 調 査 (基本構想)
				用 地	買 収		



いちごと言えば、本来は初夏の果物ですが現在は冬の果物になっています。ハウス栽培によって、一番需要の多いクリスマスから新年に向けて出荷しているためです。

今回は、いちご栽培歴15年の塙朝雄さん（小貫）をたずねてみました。



おいしそうないちご！

今が いちごの最盛期

塙さんのビニールハウスには今、真っ赤ないちごがたくさん実っています。品種は「女峰」と最近導入した「静岡九号」一年のうちでクリスマスが一番の売り時なので、今が勝負です。

今年は天候による関係で作柄はもう一つで、病気がでているそうです。しかし、最近になって甘さのつてきて、ひと安心とのことでした。市況も「平年並」ですが、昨年に比べれば半値だそうです。

いちご研究会の活動

塙さんは、北浦村いちご研究会の会長としても活躍しています。

研究会では定期的に集まり、会員同士の情報交換に力を入れています。また、今年はいちごの本場九州で研修をしてきました。先進地を参考にし、自分たちの経営をどう改善するかを話し合っています。たとえば「隔離ベツ」という新技術や、収穫の時期を早める技術などです。

また、主力品種である「女峰」は病気に弱いので、それ



仲のいい塙さんご夫妻

経済的なゆとりと 生活のゆとりを

にかわるものをさがしているところだそうです。今一番考えていることは、自分の息子さんに後を継いでもらうために、経営をどう改善するかということです。経済的な安定はもちろんですが、労働力の軽減も大切なことです。特に、いちごの収穫はとても大変なので、改善したいそうです。

また、村にウイルスフリー苗の増殖センターをつくってほしいと話していました。育苗の手間をなくし、品質のそ



委員長の
斉藤 一男 さん
(小幡)

農業を活性化する ための委員会が発足

鯉頭会議の五つめの専門委員会として「農業活性化委員会」ができました。これまでの委員会は作物ごと、あるいは流通に関する研究が目的でしたが、この委員会は、村の農業を活性化するにはどうしたらいいかを議論し、計画をつくらせて実行しようというものです。みなさんのご支援、ご協力をお願いします。

平成4年度上半期予算執行状況

(9月30日現在)

一般会計

収入率47.1% 支出率31.3%

単位千円

科目	予算現額	収入済額	(収入率)
地方交付税	1,561,040	1,330,697	(85.2)
歳入			
村税	585,887	389,026	(66.4)
繰入金	710,500	400,000	(56.3)
国庫支出金	494,491	156,352	(31.6)
入村債	1,619,860	44,960	(2.8)
その他	811,554	400,306	(49.3)
歳入合計	5,783,332	2,721,341	(47.1)

科目	予算現額	支出済額	(支出率)
教育費	2,694,287	668,684	(24.8)
歳出			
総務費	579,863	245,653	(42.4)
農林水産業費	581,114	118,057	(20.3)
土木費	608,622	180,167	(29.6)
その他	1,319,448	596,917	(45.2)
歳出合計	5,783,334	1,809,478	(31.3)

平成3年度決算額

収入62億・支出58億

単位千円

会計別	収入済額	支出済額
一般会計	4,058,742	3,823,422
特別会計		
国民健康保険事業	1,058,883	907,847
老人センター	96,593	86,252
簡易水道事業	567,151	551,463
老人保健事業	494,202	508,281
計	6,275,571	5,877,265

むらの家計簿

財政状況の公表から

村の仕事は皆さんからの税金や国・県からの補助金で行われています。財政状況の公表は、どのようにお金が使われているのかを皆さんに理解していただくためのものです。平成4年度の間報告と平成3年度の決算報告をいたします。

特別会計

単位千円

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	958,616	516,723	330,959
老人センター	88,682	56,394	40,903
簡易水道事業	132,885	81,988	41,939
老人保健事業	579,580	240,141	223,680

。。。村民一人当たり。。。

納めたお金

6万989円



使われたお金

52万1,960円



※納めたお金＝村税÷人口

使われたお金＝支出決算額÷人口

ドイツ研修

(北浦国際交流協会)

昨年引き続き、北浦国際交流協会では、ドイツ連邦共和国の連合行政体ウィルゲスで、交流・研修を行ってきました。派遣団は6名で、石上雅崇さん(山田)伊勢山雄司さん(次木)、下河辺勝子さん(繁昌)、茂木千恵子さん(繁昌)、行政側から辺田洋一郎さん、コンサルタントの吉沼隆男さんが参加しました。

今回は二度目ということで、ウィルゲスの対応もスムーズに行き、参加された皆さんは実のある研修ができたそうです。協会では、今度はぜひウィルゲスの市長を北浦村へ招待したいと計画中です。

人的交流実る

石上雅崇

ドイツの連合行政体ウィルゲスを北浦村の派遣団が訪れるのは、今回で二回目となります。表敬訪問の意味合いが強かった前回に比べ、今回のプログラムはその枠も拡がり時間的にも多少ゆとりのあるものになりました。あちらの行政体も忙しい10月という時期を避け、11月下旬に日程を組んだことも結果的には良かったようです。

11月23日午後、ルフトハンザで成田を出発した一行は、当日の午後6時過ぎにフランクフルト空港に到着、フランクフルトのホテルに宿泊しました。

11月24日朝、フランクフルト市内の混雑を考え、フランクフルトからコブレッツの駅まで、ライン川沿いの車窓風景を眺めながら列車で移動。市長の友人で、休暇中というブラウム氏が好意で運転を引き受けてくれたマイクロバスに乗り、最初に到着したのはケラームヒュミ社。従業員約2,000人、敷地約150ヘクタールに限らず独自のシーリング材の開発、施工なども行っているこの会社で思わぬVIP待遇を受けた一行は、企業としてのその姿勢にも大きな感銘を受けました。

その後フランクフルト市長が合流、市内見学の後、地域のスポーツ少年団の役員との懇談会がありました。日本とは逆の流れからスポーツが学校に入り込もうとしているドイツの状況が、興味深いものに感じられました。

その後はフランクフルト市長の招待で、もはや定番という印象の、ケッペルの山小屋での夕食会となりました。



11月25日は、今回の目玉と遇を受けた一行は、企業としてのその姿勢にも大きな感銘を受けました。

その後フランクフルト市長が合流、市内見学の後、地域のスポーツ少年団の役員との懇談会がありました。日本とは逆の流れからスポーツが学校に入り込もうとしているドイツの状況が、興味深いものに感じられました。

その後はフランクフルト市長の招待で、もはや定番という印象の、ケッペルの山小屋での夕食会となりました。

11月26日は陶土探掘博物館と陶器博物館の見学、ウェスターヴァルトビール醸造所の見学と、地元産業の見学が中心となりました。午後は古い街並みの残るノイマルクトを見学、クリスマス用のデコレーションも華やかなドイツの雰囲気も楽しんだ一行でした。

11月27日、午前中は自由時間。モンターバオアの街は明日からの「長い土曜日」に備え、もうほとんどクリスマススの雰囲気でした。午後は郡の庁舎で商工業に関する懇談会が行われ、商工業組織、そしてドイツでは商工会が広報を担当する企業誘致の条件などについて情報交換を行いました。

この日ウィルゲス最終日となる夕食には、運転手のブラウム氏を招待してささやかなパーティーを開かせて頂きました。この日はなんとフランクフルト市長のお誕生日で、市長はお祝い客の接待のために残念ながら欠席となりました。

11月28日、リンブルクの駅でフランクフルト市長とブラウム氏の見送りを受けた一行は、今後の派遣も快く承諾して下さった市長の言葉を胸に、ウィルゲスを後にして中世の大学街マルブルクへの小旅行へ出発しました。

この日はクリスマスの準備期間となる最初の「長い土曜日」で、夕暮れまでドイツの小都市のクリスマスの雰囲気を楽しみ、滞在最終日の思い出となりました。

11月29日、小雨の中、フランクフルト空港を出発。

今回は、特に人的交流という面でも実り多い滞在となりました。それがどんなものであったか、個々の研修や思い出については、団員各自の報告から知ることができると思っています。

青年の船中国へ...

北浦村から4名参加

茨城県青年の船が、10月29日から11月8日までの11日間の日程で行われました。北浦村からも4名(田所晴美さん、石橋陽子さん、後谷和浩さん、教育委員会事務局人見偉策さん)が参加しましたので、報告をいたします。



いろいろな事に挑戦したい



田所 晴美

今何かをしてみたい、もっと友達を増やしたい、そんな気持ちから「夢航路、明日への挑戦」というテーマの基に、私はこの青年の船に参加しました。

鹿島港を出航する時はとても不安でした。十一日間の間、私は団員の中の一人として、本当にしっかりやっていくのかどうか。しかし、船での生活も中国についてからも、楽しい事ばかりで不安などいつの間にか、なくなってしまうました。

船での生活は、朝のつどいに始まり、眠い目をこすりながら講師の先生方の話を聞いたりして、いくつものレポート提出は大変だったけれど、行きのブロック別洋上祭や、帰りの班別運動会、そして船内班での毎晩つづく交流会な

この感動を経験してほしい



石橋 陽子

ど、今となつては大変だった事よりも、楽しく多くの仲間と接した事の方が思い出されます。

中国では、万里の長城や天安門広場、そして故宮などを見学しました。

初めて本物を目の前に見て思った事は、やはり中国の広さと雄大さでした。四日間の現地研修で、中国の歴史を体で感じる事が出来て、とても

「夢航路・明日への挑戦」をテーマに実施された平成四年度茨城県青年の船に参加しました。十一日間の船・中国での研修。社会に出たばかりで、またこのような青年団活動に参加する事が初めての私には、とても不安でした。

感動しました。中国の人々が上陸した時やスポーツ交流会などで、私達を暖かく迎えてくれた事はとても嬉しかったです。

そして十一日間の研修を終えて、日立港に帰って来た時、私は本当にこの船に参加して良かったと思えました。港での仲間との別れはとても寂しかったけれど、これからもっとみんなとの交流を深めたいと思っています。そして、この経験を活かし私はもっといろいろな事に挑戦していきたいと思っています。

たくさんの人々の見送りをうけて、私達は鹿島港を出発し、始まった船での研修。ブロック別洋上祭では水をテーマに劇を発表し、見事優勝しました。班の皆で協力して作りあげた壁新聞。皆で一つのものを作りあげる喜びを知ることができました。また役員の人に隠れながら夜遅くまで仲間と語り合った事、船に酔いながら書いたレポート、眠いながらも真面目に聞いた講義。どれも忘れられない

思い出です。

夢にまでみた中国では、映画でしか見た事のなかった故宮、あこがれの万里の長城、明の十三陵、天安門広場の広さ。本物を目の前にしてとても感激しました。また、私は人民大会堂と河西体育館での交流会で日本舞踊を踊らせてもらい、中国人二千人の前で踊れたことはとても貴重な体験でした。

言葉こそ通じませんでした、一緒に踊ったフォークダンス、笑顔でかわした握手で十分心が通じあえたのではないかと思います。習慣の違いや食べ物の違いに多少のときどきありましたが、中国の歴史の深さを素直に感じることもできた研修でした。

今回の研修に参加して、たくさんの仲間と出会うことができました。貴重な体験もできた。この先、自分でもできるか分かりませんが、この研修で学んだ事、得た物を生かしていきたいと思っています。これからもこの青年の船にたくさんの方が参加して、この感動を経験してほしいと思います。

地域住民福祉の 発展に向けて

村社会福祉大会

第二〇回目を迎えた北浦村福祉大会が一月三〇日に津澄第一公民館で開催されました。

高齢化が進み、人生八〇年時代を迎えた今日、だれもが安心して暮らせる福祉の充実が求められています。

村では、昭和四六年に村社会福祉協議会が法人化されて以来福祉大会も二〇回を数えることになりました。その間村と社会福祉協議会が連携を深めながら、入浴サービス事業や給食サービス事業など、幅広い福祉施策を展開してきました。

式典では、評論家であり作家である吉武輝子さんを招いて、「人生を豊かに生きるために」という演題での講演が行われました。更に、子供の主張コンクール入賞者発表が

ありました。

また、社会福祉に携わる方の顕彰が行われました。顕彰された方々は次のとおりです。

◎社会福祉協議会顕彰

(表彰状)

(民生委員児童委員)

小沼 和夫さん (吉川)

塚原 てるさん (中根)

山野 哲雄さん (山田)

辺田 つやさん (山田)

根本 和代さん (山田)

平間 章司さん (行戸)

斉藤 よしさん (北高岡)

内田 平男さん (両宿)

(北浦保育園保母)

平山みどりさん

風間 陸子さん

(北浦村心配ごと相談員)

額賀 林栄さん

東野サカエさん

(ボランティア)

島田 とくさん (小貫)



▲熱心に話をしてくれた吉武輝子氏

(感謝状)	(個人又は法人)	(山田鶴亀クラブ)
高橋 修一さん (繁昌)	岡崎 サキさん (小幡松寿会)	
真家 安善さん (繁昌)	長峰 義夫さん	
宮本 弘道さん (山田)	(内宿ほえみ会)	
(北浦樹脂工業(法人))	河野 やすさん	
◎老人クラブ連合会長顕彰	吉田 しいさん (成田成寿会)	
(表彰状)	成田 富さん	
吉田 梅範さん (小貫親樹会)	成田 たいさん	
(感謝状)	木村 友枝さん	
大里 惣七さん (山田若葉クラブ)	河野 きんさん	
松信 孝次さん (繁昌天寿会)	河野 あいさん	
阿須間 もりさん (繁昌天寿会)	(二和帆津倉クラブ)	
原 みつさん	河野 とらさん	
	吉井きくよさん	
	島田 ちよさん	
	賀澤 ふみさん (小貫高砂会)	
	塚本 とりさん (小貫親樹会)	
	松本 うめさん	

子供の主張コンクール

わたしのやさしさを 分けてあげたい



津澄小六年
阿須間 浩 美

「老人の一人暮らしってなぜあるんだろう。」とわたしはときどき思います。わたしのすんでいる中根はそんなことぜったいにないと思うけど、東京などのにぎやかな所では老人の一人暮らしがあることを知っています。

なぜわたしがそんなことを思ったかというと、テレビで貧しい老人が一人で生活しているのを見たからです。それを見たならなかかわいそうになってしまいました。それに比べてわたしの家のおじいちゃんやおばあちゃんはいいなと思いました。うちではお母さんがごはんを作ったり、

そうじをしてくれるので、おじいちゃんやおばあちゃんはとてもたすかるからです。

わたしの学校では毎年「津澄小祭り」というのをやっていきます。その祭では学校で作った米やいもなどを料理してたくさん来る老人会の人たちに食べてもらいます。おじいさんたちはわたしたちの手で作った農作物を食べては「おいしいね。ごちそうさま。」と言ってくれます。それに交流の場もあります。お手玉やわらぼうしの作り方など昔の遊びをおしえてくれるのです。

わたしはこの祭りが大好きです。でも毎年二、三人、同じクラスの人が、「いやだな。やりたくない。」と言います。それを聞くとわたしは、「なんでやりたくないんだ。こんな楽しいもの。」と思ってしまいます。準備は大変だけれどおじいさんやおばあさんと一

しよに遊んだりするのがとても楽しいので私は津澄小祭りが大好きなのです。

わたしは小学校ばかりではなく中学や高校でもこのようになことをやってほしいと思います。そうすればみんなが老年よりを大切にするだろうし、たとえ一人暮らしでもさみしくないと思うからです。

わたしは将来、福祉活動をしてみたいな、と思います。なぜなら老人や困っている人をたすけてあげたいと思ったからです。「ボランティアと福祉はちがう」と聞いたけどどちらも老人を中心として人々をたすけるということが頭の中にうかんできます。

わたしが大きくなったら、一人暮らしの老人の家を訪ねたいと思います。そして、話あいてになったり、そうじやごはん作りを手つだつてあげたりしたいと思います。

老人の一人暮らしや困っている人が一人でもへるようになわたしのできごとを分けてあげたいと思います。

あきらめずに頑張れば 何でもできる



小貫小六年
男 庭 圭 一

「やったー。三位だ。」ゴールした瞬間、心の底から喜びがわきあがってきました。村の陸上記録会で、僕は百メートル走に出場し、三位に入賞したのです。走りぬいたコースを見つめながら、僕は、幼稚園の頃を思い出していました。

幼稚園に通っていた年の一月、僕は、足が変だと言われました。友達からは、筋肉痛だから心配ないよと励まされましたが、だんだん不安になってきました。とても悪い病気なんじゃないか、僕は、自分の足を見るたび、不安で胸が押しつぶされそうになりました。そのうち、父が病院に連れていってくれました。僕

は、ドキドキしながら診察してもらいました。その結果、ペルテス病という、かなりやっかいな病気だということが分かりました。僕は、とても悲しくなりました。知らない人ばかりの病院に、たった一人で入院しなければならなかったのです。病気が治らなかつたら、そう思うとつらくて、つらくて涙が出そうになりました。でも、診察室を出ると、足が一本しかない人など、僕より重い病気の方がたくさんいました。みんな、僕と同じ気持ちなんだ。つらいのは、僕だけじゃないんだ。そう気が付くと勇気ができました。病気なんかには負けるもんか、僕は、頑張りぬく決心をしました。

あれから六年。今では、ギブスも、松葉づえもいりません。友達と同じように元気に遊んだり、運動したりできます。去年のソフトボール大会では、ホームランを打つことができました。サッカーのス

ポーツ少年団では、キャプテンになり県大会に出場することもできました。不安で、つらかったあの頃と比べると、まるで夢のようです。

これからも、きつとあの病気のようには、つらいこと、苦しいことがたくさん待ち受けているでしょう。でも、どんなに苦しくても、あきらめずに頑張れば何でもできることを僕は知っています。病気の時のつらさ、苦しさから学んだことを生かして、これから一生けん命頑張っていきたいと思っています。

また、世の中には、あの時の僕と同じように苦しんでいる人がたくさんいます。苦しさや戦っている人がたくさんいます。その人たちは、体が不自由というだけで、僕たちとは何も変わりません。僕たちと同じように、いえ、それ以上に一生けん命生きていく人たちがいます。どんなに苦しくても、頑張りぬこうと努力している人たちと一緒に、僕は、障害を乗り越えていこうとする強い心をもった人間になりたいと思います。

おのの話題

身近な出来事や話題をお寄せください。(広報係)

親子菜園 “ソバ作りで楽しむ”

親と子が共同作業を行い、ふれあいを深め、収穫の喜びを味わうことを目的に、親子菜園教室を開催したところ、四十名程の親子の参加がありました。これは、種まきから

除草、収穫、ソバ打ち試食と親子が共同で行いました。十月十二日には、ソバ打ちと試食が行われ、自分達で作ったソバを美味しくそくに食べていました。



次木地区にばら賞

次木地区地域づくり推進 ばら賞を受賞しました。協議会(代表 堀昇さん)がこのばら賞とは、県が推進



▲ 奉仕作業等で整備された次木農村公園

している「真の豊かさを求める県民運動」の一環として、真に豊かな郷土づくりのために貢献した団体等に知事からほう賞を贈っている制度です。これが「ばら賞」です。

次木地区地域づくり推進協議会では、地域住民の交流と連帯による豊かで住みよい地域づくりを目的に、子供会、老人会等の活動を支援するとともに、農村公園、ソフトボール場、ゲートボール場、休憩所、相撲場等を奉仕作業で整備し、清掃も自主的に行っています。また、水田農業確立対策推進事業についても、積極的に協力し、毎年早期の目標面積達成に努めています。以上によりばら賞を受賞しました。

金婚祝賀会

結婚五十周年を迎える金婚祝賀会が、十一月二〇日に老人福祉センターで開催されました。今回は一七組が参加されました。金婚祝賀者は次のとおりです。

阿須間 章夫さん (中根)	高橋 辰男さん (繁昌)	宮内 幸雄さん (内宿)	美津子さん (小幡)
千代子さん (山田)	たかさん	はつさん	正信さん (小幡)
境橋 次男さん (行戸)	真知さん (行戸)	森崎 良佐さん (三和)	加納 秋男さん (小幡)
前田 信さん (行戸)	とくさん	高柳 信義さん (長野江)	きんさん
千ヶ崎 惣右衛門さん (小幡)	寿美江さん (行戸)	五十野 均さん (次木)	静枝さん (三和)
	フミさん	根本 登さん (小貫)	望月 茂さん (三和)
	堀 久子さん (行戸)		悦子さん (三和)
			高柳 正さん (三和)
			志江さん (長野江)
			勝子さん (小貫)

グローバルな人間教育

才能開発実践教育賞

小貫小学校



▲ 受賞を喜ぶ生徒たち

才能開発教育研究財団より、小貫小学校が才能開発実践教育賞を受賞しました。才能開発教育研究財団と

わが国の教育の進歩向上に寄与することを目的とした財団です。その事業の一つとして、先進的な研究実践を行い、その業績が認められた学校に対し「才能開発実践教育賞」を贈呈しています。本年度は、全国で六十六の小学校が選ばれ茨城県では、小貫小学校が選ばれました。それ以外にも十一月十九日に小貫小学校において贈呈式が行われました。小貫小学校では、「グローバルな人間教育の実践」ということで、平成二年度より、国際理解教育を中核として、実践活動に取り組んできました。課題解決学習等を通じて学習意欲・主体性を養いながら、情報処理能力を高めつつ国際社会への理解促進を図りました。また、地域性を踏まえた実践活動から郷土愛の心も育ち、児童間には従来にもまして協調性も広まりつつあります。

ほう賞内容
・奨励金 二十万円
・副賞 教育機器
「まなぶくん」
ソフトその他



▶ お礼の言葉を述べる 小嶋 裕美さん

中学校に コンピューター

社会の情報化に対応できる基礎的な資質を養うために、授業にコンピューターを取り入れることになりました。従来の技術室をコンピューター室に改造し、教師用二台と生徒用二〇台のコンピューターが導入されました。将来的には、生徒用を四〇台に増やす予定です。機種はNEC-PC9801です。実際に授業が始まるのは四月からです。



「土」採取についてのお願い

北浦村土採取事業規制条例では、土採取事業に伴う災害を防止するとともに採取跡地について緑化等による適正な整備を図るため、土採取事業について届出制をもうけています。

土採取事業について最近、無届けによるもの、届出書通りに事業を行っていない土採取の現場もあり、住民からの苦情もよせられています。

土採取は事業主ばかりでなく土地所有者も採取跡地の緑化に努め、災害防止の責務があります。

また、悪質業者の甘言によって安易に土を売り、採取跡地を整備せず、跡地に廃棄物等の投棄の現実もあり、環境の破壊とともに、大型ダンプによる重量制限を無視した過重積載による道路の損壊など目に余るものもあります。

土地所有者のみなさんも十分配慮してください。

◆ご協力を

今後ともこの緑ゆたかな北浦村を守り、子孫に残すために村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆問合せ先

北浦村役場企画開発課 ☎5-2111（内線221）

土採取を行いたい事業者及び土地所有者は事前に役場企画開発課まで問合せ下さい。

暴力団に関する 困り事相談

茨城県暴力追放推進センターでは、暴力団問題で困っている方からの電話相談や面接相談を行っています。

- 相談電話
0292-28-0893
- 相談室
水戸市大町2-2-6 第1生命ビル内
(茨城県暴力追放推進センター)
- 受付時間
午前9時～午後5時
(月曜日～金曜日)

無料司法書士法律相談

- 土地・建物・会社・法人・裁判手続き等に関する相談
- 期 日 2月10日・3月10日
- 時 間 午後1時～5時
- 相談所 県内各司法書士事務所
- 問合せ 茨城県司法書士会
(水戸市五軒町1-3-16 ☎0292-25-0111)

心の健康セミナー

心の健康に関する知識と理解を深め、精神障害者に対する誤解と偏見を取り除くために。

- 日 時 2月24日(水)
午前9時30分～
- 場 所 大野原コミュニティセンター
(神栖町木崎2583)
- 主 催 潮来保健所

人権相談所開設

近所のいやがらせ、家族間の不和、不動産の売買などの相談を無料でお受けします。

- 日 時 2月19日(金)
午前10時～午後3時
- 場 所 津澄第1公民館
- 問合せ
麻生人権擁護委員協議会
水戸地方法務局麻生支局
(☎0299-72-0466)

婦 人 相 談

夫婦・嫁姑等親族間の不和、男女問題の悩み、職場での人間関係の問題等他の人に相談できない悩みをお持ちの方へ。

- 相談電話
0292-21-4166
- 相談室
茨城県婦人相談所
(水戸市梅香2-3-55 ☎0292-21-4635)
- 受付時間
午前9時～午後4時
(月曜日～金曜日)

放送大学生募集

放送大学校は、テレビ・ラジオを通じて自宅で学習できる大学(教養学部)です。

- 18歳以上であればどなたでも入学でき、1科目からでも学べます。放送大学では、平成5年度第1期の学生を募集します。
- 募集人員 17,000人
- 出願受付 2月15日まで
- 応募要項はハガキ又は電話で下記へご請求ください。

◎放送大学本部
〒261 千葉市美浜区若葉2-11
☎043-276-5111
(テレホンサービス
03-3580-4600)

海技免状の更新・講習

- 期 日 及び 場 所
2月24日 那珂湊市中央公民館
3月2日 土浦市民会館
- 時 間
午前9時～12時
更新及び旧4級講習
午後1時～5時
失効再交付講習
- 対象者
小型船舶操縦士(1～4級)
- 料 金
更 新 …………… 9,000円
旧4級小型 …………… 11,000円
失効再交付 …………… 16,000円
- 問合せ
二川海事事務所
(☎0292-73-9078)

東京電力が防犯灯を寄贈

東京電力(株)石岡営業所より、村の通学路等に防犯灯が設置寄贈されました。通学路灯での防犯・事故防止に役立ててほしいということで現在までに70基が寄贈されました。

北浦村長選挙の結果

12月23日
(当日有権者数 8,365人・投票率 55.35%)

磯山伸知候補 4,333票
久保田孝候補 186票

文化講演会

- ◎と き 平成5年2月13日(土)
午後1時30分 開演
- ◎と ころ 津澄第1公民館
- ◎演 題 『自分でできる健康管理』
- ◎講 師 竹腰 美代子先生
- ◎主 催 津澄第1公民館
・北浦村商工会

※入場無料

【講師プロフィール】

ストレッチ体操の第1人者。各地でアマチュア・一般市民の実技指導に当たる。又、皇后陛下の体操ご指導の経験もある。

第20回 北浦村芸術祭 2月8日～14日 (津澄第1公民館)

小中学校美術展	大集会室	2月8日
盆栽展	1階ロビー	(月)
水黒画展	〃	
読書感想文作品	〃	
文化財展	大集会室	
手工芸展	小・中会議室	
生花展	中会議室	14日
美術展	2階ロビー	(日)
歌謡大会	大会議室	2月9日
民謡民舞大会	〃	10日
合唱楽器演奏会	〃	11日
福祉バザー	〃	12日
映画大会	〃	12日
文化講演会	〃	13日
吟詠剣詩舞大会	〃	14日
俳句大会	役場大会議室	14日

お知らせ

茨城県内の最低賃金

茨城県最低賃金	
1 日	4,386円
1 時間	550円
産 業 別 最 低 賃 金	1 日
鉄 鋼 業	5,044 円
一般機械器具製造業	4,984 円
電気機械器具製造業	4,984 円
精密機械器具製造業	4,984 円
各種商品小売業	4,824 円

ガス溶接技能講習会

- 日 時 3月1日・2日
午前9時～
- 場 所 鹿島産業技術専門学院
- 内 容 ガス溶接技能講習
・講習終了証を交付
- 定 員 30名
- 受講料 2,600円
- 申込先鹿島産業技術専門学院
(大野村字林572-1
☎0299-69-1170)
- 締切日 2月15日(月)



小雨の中元気に力走！ 優勝はげっぴ会 女子は北浦中バスケA 第35回村内一周駅伝大会

- 第三十五回村内一周駅伝大会が一月十五日に行われました。当日は、小雨の降るあいにくの天気になってしまいましたが、選手の方々は寒さを吹き飛ばすように元気に力走していました。今回は初出場が男子の部総合優勝に輝きました。
- 大会の結果――
- 男子の部
- 優勝 げっぴ会長野江 (総合一位)
 - 準優勝 YPC (総合二位)
 - 第三位 根本銀金A (総合三位)
 - 第四位 北浦バスケットクラブ
 - 第五位 北浦サッカークラブ
 - 第六位 三育中教職員
- 女子の部
- 優勝 北浦中バスケットA
 - 準優勝 北浦中ハンドA
 - 第三位 北浦中サッカーB
 - 第四位 北浦中卓球
 - 第五位 北浦中バスケット
 - 第六位 三育中二年



- 区間賞
- 男子
- 一区 遠西克雄 (げっぴ会)
 - 二区 友竹保 (げっぴ会)
 - 三区 大場正浩 (根本銀金A)
 - 四区 大江州二 (げっぴ会)
 - 五区 中田友幸 (げっぴ会)
 - 六区 井川朋幸 (YPC)
 - 七区 河野正男 (YPC)
 - 八区 川崎敏満 (げっぴ会)
- 女子
- 一区 浅野美紀 (ハンドB)
 - 二区 額賀香 (バスケA)
 - 三区 武田和子 (テニスA)
 - 四区 額賀敦子 (バスケA)
 - 五区 堀綾子 (テニスA)
- 敢闘賞
- 三育中教職員チーム

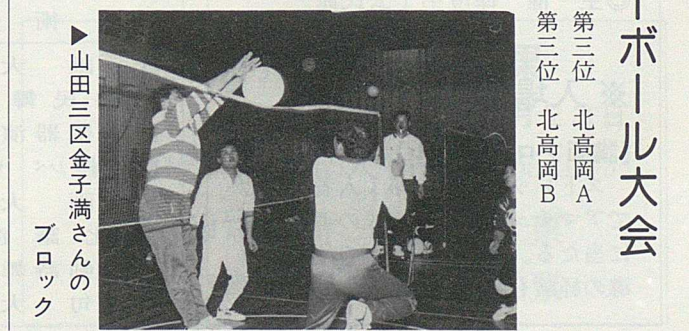
ソフトバレーボール大会

ゴムの柔らかいボールを使ったソフトバレーボール大会が十一月二十五日に行われました。北浦中体育館で夜七時から十時までの夜間を利用したこの大会には、各地区から十五チームの参加がありました。ソフトバレーボールは、バレーが苦手な方でも気軽に出来るスポーツとして、村でも普及を図っているスポーツです。皆さんも機会があったら参加してみてください。

大会の結果

優勝 山田三区B

準優勝 三和区B



山田三区金子満さんのブロック

オリエンテーリング大会

十一月二十九日に武田小学校を起点としてスポーツ少年団員を対象にオリエンテーリング大会が行われました。教育委員会では、オリエンテーリング用の地図を作成し、今回が村内では初めての大会になりました。参加者は地図を片手に思い思いのコースに足をはこんでいました。皆さん初めての方が多かったのですが、とても成績が良かったです。

大会の結果

優勝 大野一、中川大介 (三和小)

準優勝 堀宣彦、宮城弘文 (要小)

第三位 河野啓美、大原紀子 (武田小)

ふるさと遺跡めぐり

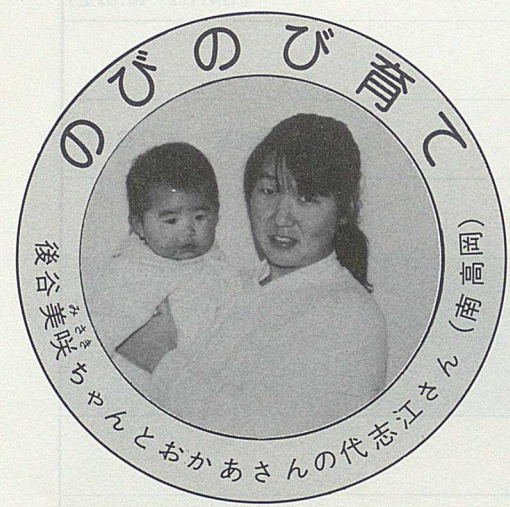
鬼越貝塚

この貝塚は、繁昌地区の森戸平という所にあり、直径約二〇〇mの円状であり、ハマグリやマキガイ等の貝や土器片が多く出土しており、土器を作った跡も見られる。

昭和二十九年七月に、清水潤三氏により調査され、縄文時代後期から、弥生時代前期のものと判明しています。この調査により、この遺跡は、県内はもとより、全国にもよく知られている。現在この跡地は、荒地地になっているためよくわからない。

山津平貝塚

この貝塚も繁昌地区の、鬼越貝塚のすぐ近くにある。東西約一五〇m、南北約一〇〇mにまたがり、数



リアン先生が結婚

北浦中学校の英語の指導助手リアン先生が母国カナダで十二月二十七日に結婚しました。相手はレジーさん(二十六歳)です。今では彼も日本に来て一緒に暮らしています。リアン先生おめでとう。

きたうら

高野 三千春選



耳よりの話し集めて落葉焚く
灯の入りて親しき店で秋刀魚買ふ
草庵の石一つ、秋惜しむ
すれちがう背中の固さ秋惜しむ
戸袋に枯蟬の斧かざす
陰口に戸は立てられぬ草風
秋給母すこやかに数え唱
ペタル踏む暮れゆく秋を惜しみけり
とりたての秋刀魚のうまさ古障子
油気の無き霜月の足裏かな
雲荒れに急ぎ仕舞いぬ菊の鉢
ガードレール乾ききるまで稲架となり
統領の声初冬のすみずみに
秋惜しむ単線電車の走りゆく
またひとつやねばならぬ冬構い
刈って稲乳房の高さまであげる
烏瓜酒で己を変えて行く

土子文江
野村すゑ
高野敬子
方波見和子
石上ちか子
藤原静子
本戸さく子
飯島秀子
仲居いみ子
羽生まき
金井クニエ
東野サカエ
松本玉江
寺内理枝
高野都枝
松本正義
桃庵

【評】第一句 三三五五人があつまって来ました。
第二句 なじみの店で秋の魚をかうことにしております。
第三句 敷石の一つ一つにも情緒があるもの。

2月のカレンダー

★催事・各種大会 ●保健行事 ㊤津澄第一公民館 □役場閉庁日 ㊤母子センター

日	曜	行 (午前)	事 (午後)	日	曜	行 (午前)	事 (午後)
1	月			15	月		●育児相談 ㊤
2	火			16	火		●ツ反 ㊤ (H4.1.1～10.31生)
3	水			17	水		
4	木		●二種混合 (津澄小、要小)	18	木		●ツ反判定・BCG ㊤
5	金			19	金		
6	土			20	土		
7	日	★村内マラソン大会		21	日		
8	月	★北浦村芸術祭 ㊤(8日～14日) ●成分献血 (津澄第一公民館)	●母子保健教室 ㊤	22	月		
9	火		●乳児健診 ㊤ (H4.7.11～10.9生)	23	火		●2歳児歯科健診 ㊤ (H2.10.7～3.2.23生)
10	水			24	水		
11	木			25	木	●国保税徴収日	●三種混合Ⅱ期 ㊤ (63.11.1～元.10.31生)
12	金	★親子スキー教室 (12日～14日) (磐梯国際スキー場)	●二種混合 (三和小、武田小、小貫小)	26	金	●国保税徴収日	●一般健康相談 ㊤
13	土		★文化講演会 ㊤	27	土		
14	日			28	日		

人口の動き

住民基本台帳調(12月末)

人 口 …… 11,288
男 …… 5,642
女 …… 5,646
世帯数 …… 2,690
転 入 …… 18
転 出 …… 23
出 生 …… 5
死 亡 …… 5

皆さん新年おめでとうござ
います。
新年早々北浦村に嬉しいニ
ュースが入りました。北浦村
出身の出久根達郎さんが、「佃
島ふたり書房」で、第百八回
直木賞(日本文学振興会主催)
に輝きました。
出久根達郎さんは、北浦村
の生まれで、北浦中学校を卒
業後に上京し現在古本屋を営
みながら執筆しています。昨
年の五月三十日には、津澄第
一公民館において文学講演会
の講演を頂きました。
北浦村でも、文化ホルの
建設が進んでいます。北浦
村の文化熱にはずみがつけ
ばよいですね。ぜひ今度取材に
行きたいと思っています。

めでたき